

情報元：南海日日新聞社  
日付：令和2年8月21日

## 環境問題で意見交換

### 生徒らがリーダー研修

沖永良部島

【沖永良部総局】沖永良部島の中学、高校生を対象にしたリーダー研修が19日、沖永良部高校など、和泊、知名両町の各地であった。島内4中学校と同高校の生徒会役員に加え、鹿児島大学の学生や教職員など68人が参加。家庭や海洋のごみを題材に野外調査を行った後、島内の環境問題について意見を交わした。

研修は沖永良部高校生徒 文学部の学生10人も昨年に  
会が主催し3年目。歴天法 続き、研修に参加した。



午前中は和泊町の長浜で、ごみ拾いをしながら漂着ごみについて調査した後、沖永良部クリーンセンターで島内のごみ処理状況を見学。町内のキクラゲ工場も訪れ、バガス（サトウキビの搾りかす）を活用した培養法なども学んだ。

午後は知名町にある沖永良部高校で、ごみの再利用や減量について意見交換。グループ別に発表もあり、「罎の蓋など使い捨て製品のごみが多い」「家庭ごみを減らすことが地域の課題」などの意見があった。

中学、高校、大学生が環境問題などについて意見を交わしたリーダー研修19日、沖永良部高校

った。  
沖永良部高校生徒会長の島愛貴さん（16）は「地域の発展や持続可能な社会づくりにつながると思うので、今後は沖永良部島についてもっと勉強し、海岸清掃ボランティアにも積極的に参加したい。リーダー研修は中学、高校、大学の学生が交流でき、コミュニケーション能力も磨けるので今後も続けてほしい」と話していた。